



発行 東京都

目次

告示

- 土壌汚染対策法の規定に基づく汚染されている区域の指定……………(環境局環境改善部化学物質対策課)…一
- 東京都統計調査条例による統計調査の名称等……………(福祉保健局総務部総務課)…二
- 准看護師試験の実施……………(福祉保健局医療政策部医療人材課)…三六
- 特定非営利活動法人の定款の変更の認証申請……………(生活文化局都民生活部管理法人課)…三七
- 再開発等促進区を定める地区計画の原案……………(都市整備局都市づくり政策部土地利用計画課)…三六
- 東京都指定排水設備工事事業者の指定……………(下水道局)…三〇

公告

告示

●東京都告示第千六百八十八号
 土壌汚染対策法(平成十四年法律第五十三号)第十一条第一項の規定により、特定有害物質によって汚染されており、土地の形質の変更をしようとするときの届出をしなければならぬ区域(以下「形質変更時要届出区域」とい

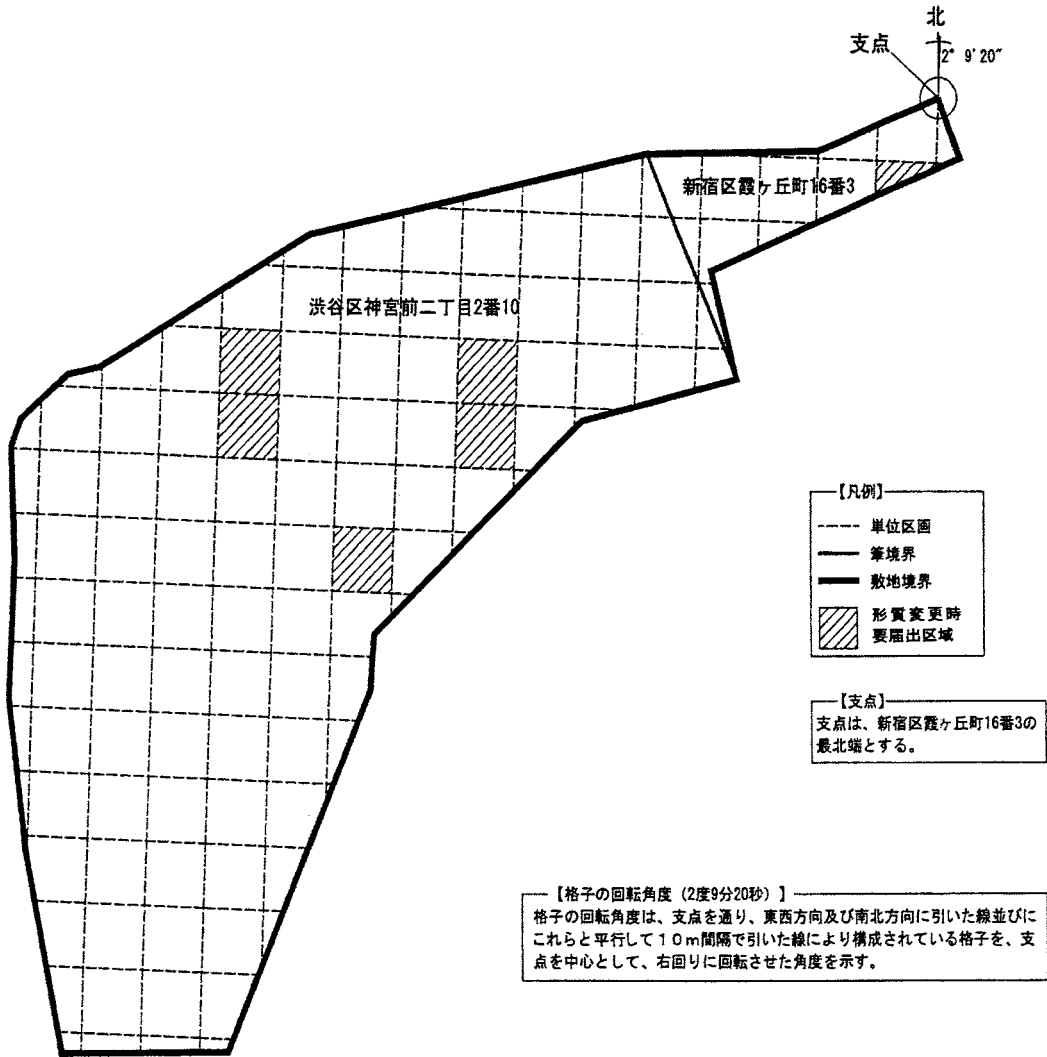
う。)を指定するので、同条第三項において準用する同法第六条第二項の規定により、次のとおり告示する。

平成二十八年十月五日

東京都知事 小池百合子

- 一 形質変更時要届出区域 別図のとおり(新宿区霞ヶ丘町及び渋谷区神宮前二丁目地内)
- 二 土壌汚染対策法施行規則(平成十四年環境省令第二十九号)第三十一条第二項の基準に適合していない特定有害物質の種類 鉛及びその化合物

別図



●東京都告示第千六百八十九号

東京都統計調査条例(昭和三十二年東京都条例第十五号)第三条の規定により、統計調査の名称等を次のとおり告示する。

平成二十八年十月五日

東京都知事 小池 百合子

一 統計調査の名称

平成二十八年年度東京都福祉保健基礎調査(都指定統計調査第四号)

二 目的

東京都内における各世帯及び世帯員の生活実態と意識を把握することにより、東京都における福祉・保健施策充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

三 調査事項

- (一) 基本的属性
- (二) 就労の状況
- (三) 住居の状況
- (四) 収入の状況
- (五) 介護等の状況
- (六) 住まいや外出先のバリアフリーの状況
- (七) 東京都の「福祉のまちづくり」
- (八) 子育て支援
- (九) 障害者支援
- (十) 地域福祉

四 調査の対象範囲

調査事項の(一)から(五)までは、東京都内に居住する住民基本台帳から無作為に抽出した六千世帯を対象とする。

調査事項の(六)から(十)までは、東京都内に居住する調査基準日現在満二十歳以上の世帯員を対象とする。

五 実施方法

調査事項の(一)から(五)までは、調査員が調査対象世帯を訪問し、面接聞き取りの上、調査票を作成する面接他計式による。

調査事項の(六)から(十)までは、調査対象者自身が調査票への記入を行う留置自計式による。

六 調査時期

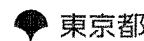
平成二十八年十月十二日から同年十一月十一日まで

七 調査基準日

平成二十八年十月十二日

八 調査票

調査票は、次の東京都福祉保健基礎調査票とする。



総務省 届出済
東京都指定統計調査第4号

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

回収予定日	月	日
-------	---	---

平成28年度
東京都福祉保健基礎調査 調査票①
—世帯と世帯員の状況—
(平成28年10月12日現在)

----- (調査員が記入) -----

回答 状況	1 回答	調査不能			
		2	3	4	5

調査 地区	区市町
----------	-----

調 査 票	調査番号				No	回 答 者
	地区番号		世帯番号			
1						

調査員 氏名	
-----------	--

※世帯全員について、ひとり1列でお答えください。あてはまる番号に○をつけるか、又は に数字を記入してください。

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4	5
※世帯主の方が単身赴任などで不在の場合、世帯の代表者の方を「1」に記入してください。					
問1 世帯主(代表者)との続柄	① 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 子 4 子の配偶者 5 孫 6 孫の配偶者 7 世帯主の父母 8 配偶者の父母 9 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	2 世帯主の配偶者 3 子 4 子の配偶者 5 孫 6 孫の配偶者 7 世帯主の父母 8 配偶者の父母 9 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	2 世帯主の配偶者 3 子 4 子の配偶者 5 孫 6 孫の配偶者 7 世帯主の父母 8 配偶者の父母 9 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	2 世帯主の配偶者 3 子 4 子の配偶者 5 孫 6 孫の配偶者 7 世帯主の父母 8 配偶者の父母 9 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	2 世帯主の配偶者 3 子 4 子の配偶者 5 孫 6 孫の配偶者 7 世帯主の父母 8 配偶者の父母 9 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)
問2 性別	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
問3 出生の年月	1 明治 <input type="text"/> 年 2 大正 <input type="text"/> 年 3 昭和 <input type="text"/> 月 4 平成 <input type="text"/> 月	1 明治 <input type="text"/> 年 2 大正 <input type="text"/> 年 3 昭和 <input type="text"/> 月 4 平成 <input type="text"/> 月	1 明治 <input type="text"/> 年 2 大正 <input type="text"/> 年 3 昭和 <input type="text"/> 月 4 平成 <input type="text"/> 月	1 明治 <input type="text"/> 年 2 大正 <input type="text"/> 年 3 昭和 <input type="text"/> 月 4 平成 <input type="text"/> 月	1 明治 <input type="text"/> 年 2 大正 <input type="text"/> 年 3 昭和 <input type="text"/> 月 4 平成 <input type="text"/> 月
問4 配偶者の有無	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

問5 保育・教育の状況	※「未就学」は、乳幼児(小学校入学前：平成22年4月2日以降出生の者)がいる場合の日中における保育などの状況について、あてはまる番号の全てに○をつけてください。 ※仕事のみをしている方や家事専業の方など、未就学、就学以外の方は、「17 上記以外」に○をつけてください。									
	未就学	1 認可保育所 2 認証保育所 3 認定こども園 4 認可外保育施設(ベビーホテルなど) 5 保育ママ 6 乳幼児の父母(在宅保育) 7 乳幼児の祖父母(在宅保育) 8 幼稚園 9 その他	未就学	1 認可保育所 2 認証保育所 3 認定こども園 4 認可外保育施設(ベビーホテルなど) 5 保育ママ 6 乳幼児の父母(在宅保育) 7 乳幼児の祖父母(在宅保育) 8 幼稚園 9 その他	未就学	1 認可保育所 2 認証保育所 3 認定こども園 4 認可外保育施設(ベビーホテルなど) 5 保育ママ 6 乳幼児の父母(在宅保育) 7 乳幼児の祖父母(在宅保育) 8 幼稚園 9 その他	未就学	1 認可保育所 2 認証保育所 3 認定こども園 4 認可外保育施設(ベビーホテルなど) 5 保育ママ 6 乳幼児の父母(在宅保育) 7 乳幼児の祖父母(在宅保育) 8 幼稚園 9 その他	未就学	1 認可保育所 2 認証保育所 3 認定こども園 4 認可外保育施設(ベビーホテルなど) 5 保育ママ 6 乳幼児の父母(在宅保育) 7 乳幼児の祖父母(在宅保育) 8 幼稚園 9 その他
	就学(在学中)	10 小学校 11 中学校 12 高等学校 13 短期大学・高等専門学校・専門学校 14 大学 15 大学院 16 その他	就学(在学中)	10 小学校 11 中学校 12 高等学校 13 短期大学・高等専門学校・専門学校 14 大学 15 大学院 16 その他	就学(在学中)	10 小学校 11 中学校 12 高等学校 13 短期大学・高等専門学校・専門学校 14 大学 15 大学院 16 その他	就学(在学中)	10 小学校 11 中学校 12 高等学校 13 短期大学・高等専門学校・専門学校 14 大学 15 大学院 16 その他	就学(在学中)	10 小学校 11 中学校 12 高等学校 13 短期大学・高等専門学校・専門学校 14 大学 15 大学院 16 その他
	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	17 上記以外	

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4	5
問6 平成28年9月 中の仕事の状 況	※平成28年9月中に収入を伴う仕事をしたかお答えください。収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」とします。 ※仕事には、自営業の手伝いやパートタイム、アルバイトを含めます。				
	仕事あり →問6-1へ 1 主に仕事 2 家事などのかたわらに仕事 3 通学のかたわらに仕事 4 その他 仕事なし →問7へ 5 家事専業 6 通学のみ (小・中・高・大学など) 7 仕事を探していた 8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	仕事あり →問6-1へ 1 主に仕事 2 家事などのかたわらに仕事 3 通学のかたわらに仕事 4 その他 仕事なし →問7へ 5 家事専業 6 通学のみ (小・中・高・大学など) 7 仕事を探していた 8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	仕事あり →問6-1へ 1 主に仕事 2 家事などのかたわらに仕事 3 通学のかたわらに仕事 4 その他 仕事なし →問7へ 5 家事専業 6 通学のみ (小・中・高・大学など) 7 仕事を探していた 8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	仕事あり →問6-1へ 1 主に仕事 2 家事などのかたわらに仕事 3 通学のかたわらに仕事 4 その他 仕事なし →問7へ 5 家事専業 6 通学のみ (小・中・高・大学など) 7 仕事を探していた 8 働いていない (幼児・高齢・病気など)	仕事あり →問6-1へ 1 主に仕事 2 家事などのかたわらに仕事 3 通学のかたわらに仕事 4 その他 仕事なし →問7へ 5 家事専業 6 通学のみ (小・中・高・大学など) 7 仕事を探していた 8 働いていない (幼児・高齢・病気など)
問6-1 仕事の種 類	《以後、問6で「仕事あり」と回答した方にお聞きします。》 ※複数の仕事がある場合は、主な仕事を1つ選んでください。				
	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事	1 管理的な仕事
	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事	2 専門的・技術的な仕事
	3 事務の仕事	3 事務の仕事	3 事務の仕事	3 事務の仕事	3 事務の仕事
	4 販売の仕事	4 販売の仕事	4 販売の仕事	4 販売の仕事	4 販売の仕事
	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事	5 サービスの仕事
	6 保安の仕事	6 保安の仕事	6 保安の仕事	6 保安の仕事	6 保安の仕事
	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事	7 農林漁業の仕事
	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事	8 生産工程の仕事
	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事	9 輸送・機械運転の仕事
	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事	10 建設・採掘の仕事
	11 運搬・清掃・包装など の仕事	11 運搬・清掃・包装など の仕事	11 運搬・清掃・包装など の仕事	11 運搬・清掃・包装など の仕事	11 運搬・清掃・包装など の仕事
	12 その他の仕事	12 その他の仕事	12 その他の仕事	12 その他の仕事	12 その他の仕事

3

問6-2 就労の形 態	1 常雇の人	1 常雇の人	1 常雇の人	1 常雇の人	1 常雇の人
	2 臨時雇の人	2 臨時雇の人	2 臨時雇の人	2 臨時雇の人	2 臨時雇の人
	3 日雇いの人	3 日雇いの人	3 日雇いの人	3 日雇いの人	3 日雇いの人
	4 会社などの役員	4 会社などの役員	4 会社などの役員	4 会社などの役員	4 会社などの役員
	5 自営業主(雇人あり)	5 自営業主(雇人あり)	5 自営業主(雇人あり)	5 自営業主(雇人あり)	5 自営業主(雇人あり)
	6 自営業主(雇人なし)	6 自営業主(雇人なし)	6 自営業主(雇人なし)	6 自営業主(雇人なし)	6 自営業主(雇人なし)
	7 家族従事者(自家営業 の手伝い)	7 家族従事者(自家営業 の手伝い)	7 家族従事者(自家営業 の手伝い)	7 家族従事者(自家営業 の手伝い)	7 家族従事者(自家営業 の手伝い)
	8 その他()	8 その他()	8 その他()	8 その他()	8 その他()
問6-3 企業規模 ・官公庁 の別	《問6-2で1~4と回答した方にお聞きします。》(5~8と回答した方は問7へお進みください。) ※勤務地だけでなく、本社・支社・工場なども含めた企業全体の従事者数をお答えください。 ※官公庁とは、国の機関、地方自治体及び独立行政法人をいいます。				
	1 30人未満	1 30人未満	1 30人未満	1 30人未満	1 30人未満
	2 30~99人	2 30~99人	2 30~99人	2 30~99人	2 30~99人
	3 100~499人	3 100~499人	3 100~499人	3 100~499人	3 100~499人
	4 500~999人	4 500~999人	4 500~999人	4 500~999人	4 500~999人
	5 1000人以上	5 1000人以上	5 1000人以上	5 1000人以上	5 1000人以上
	6 官公庁	6 官公庁	6 官公庁	6 官公庁	6 官公庁
問6-4 勤務先で の呼称	《問6-2で1~3と回答した方にお聞きします。》(4~8と回答した方は問7へお進みください。)				
	1 正規の職員・従業員	1 正規の職員・従業員	1 正規の職員・従業員	1 正規の職員・従業員	1 正規の職員・従業員
	2 パート	2 パート	2 パート	2 パート	2 パート
	3 アルバイト	3 アルバイト	3 アルバイト	3 アルバイト	3 アルバイト
	4 労働者派遣事業所の派 遣社員	4 労働者派遣事業所の派 遣社員	4 労働者派遣事業所の派 遣社員	4 労働者派遣事業所の派 遣社員	4 労働者派遣事業所の派 遣社員
	5 契約社員・嘱託	5 契約社員・嘱託	5 契約社員・嘱託	5 契約社員・嘱託	5 契約社員・嘱託
	6 その他()	6 その他()	6 その他()	6 その他()	6 その他()

4

世帯員番号	1 (世帯主)	2	3	4	5
《全員にお聞きます。》					
問7 身体障害者 手帳の取得 状況	※身体障害者(児)の方に交付される手帳です。				
	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない
問7-1 障害の種 類	《問7で「1 取得している」又は「2 申請中」と回答した方にお聞きます。》				
	※2種類以上の障害がある方は、あてはまる番号の全てに○をつけてください。				
	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声・言語・そしゃく 機能障害 5 上肢機能障害 6 下肢機能障害 7 体幹機能障害 8 乳幼児期以前の非進 行性の脳病変による 脳原性運動機能障害 9 内部機能障害	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声・言語・そしゃく 機能障害 5 上肢機能障害 6 下肢機能障害 7 体幹機能障害 8 乳幼児期以前の非進 行性の脳病変による 脳原性運動機能障害 9 内部機能障害	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声・言語・そしゃく 機能障害 5 上肢機能障害 6 下肢機能障害 7 体幹機能障害 8 乳幼児期以前の非進 行性の脳病変による 脳原性運動機能障害 9 内部機能障害	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声・言語・そしゃく 機能障害 5 上肢機能障害 6 下肢機能障害 7 体幹機能障害 8 乳幼児期以前の非進 行性の脳病変による 脳原性運動機能障害 9 内部機能障害	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声・言語・そしゃく 機能障害 5 上肢機能障害 6 下肢機能障害 7 体幹機能障害 8 乳幼児期以前の非進 行性の脳病変による 脳原性運動機能障害 9 内部機能障害

問8 愛の手帳の 取得状況	※知的障害者(児)の方に交付される手帳です。				
	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない
問9 精神障害者 保健福祉手 帳の取得状 況	※精神障害者(児)の方に交付される手帳です。				
	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない	1 取得している 2 申請中 3 取得していない
《「40歳以上」の方にお聞きます。》 ※介護保険制度の要介護・要支援認定です。					
問10 要介護・要支 援認定の有 無	1 受けている 2 申請中 3 受けていない	1 受けている 2 申請中 3 受けていない	1 受けている 2 申請中 3 受けていない	1 受けている 2 申請中 3 受けていない	1 受けている 2 申請中 3 受けていない

※ここから先は、世帯の状況について、お答えください。あてはまる番号に○をつけるか、又は に数字を記入してください。

問11 住宅の種類	1 持家 2 民間賃貸住宅 3 都営・区市営の賃貸住宅や都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅（※1） 4 社宅・公務員住宅などの給与住宅（※2） 5 高齢者向け住宅（※3） 6 間借り・その他	※1 都市再生機構、住宅供給公社などの賃貸住宅や都営・区営・市営の賃貸住宅をいいます。 ※2 勤め先の会社・官公庁や雇主などが所有又は管理している住宅（独身寮を含む。）をいいます。 ※3 シルバーピア、高齢者向けの優良な賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホームなどをいいます。 ・親名義の家に住んでいる場合は、家賃を払わないで住んでいる場合でも「持家」とし、同様に親世帯が、子名義の家に家賃を払わないで住んでいる場合も、「持家」とします。
問12 建て方	1 一戸建て 2 共同住宅（マンション・アパートなど）	
問12-1 住居の戸数	《問12で「2」と回答した方にお聞きます。》	
	1 50戸未満 2 50～100戸未満	3 100～200戸未満 4 200戸以上
問12-2 居住階数	1 1階 2 2～3階	3 4～5階 4 6階以上
《全員にお聞きます。》		
問13 エレベーターの有無	1 ついている 2 ついていない	
問14 居住室数	<input type="text"/> 室	・居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室などの居住用の部屋数を記入してください。3畳以上のダイニングキッチンを含めますが、玄関、台所、便所、浴室、廊下、土間などは含めません。
問15 住宅の床面積	<input type="text"/> m ²	・小数点以下は四捨五入してください。 ・上の居住用の部屋のほか、玄関や廊下なども含めた住宅全体のおおよその床面積（営業用の部分は除く。）を記入してください。 ・共同住宅の場合は、自宅の床面積を記入してください。

7

問16 居住開始時期	1 昭和19年以前 2 昭和20年～29年 3 昭和30年～39年 4 昭和40年～49年 5 昭和50年～59年	6 昭和60年～平成6年 7 平成7年～16年 8 平成17年～26年 9 平成27年～	・現在のお住まいに住み始めた時期をお答えください。 ・入居した住宅が建て替えられた場合は、建て替え以前の入居時期をお答えください。
問17 建築の時期	1 昭和25年以前 2 昭和26年～35年 3 昭和36年～45年 4 昭和46年～55年 5 昭和56年～平成2年 6 平成3年～7年	7 平成8年～12年 8 平成13年～17年 9 平成18年～22年 10 平成23年～27年 11 平成28年	・共同住宅の場合は、建物全体の建築時期をお答えください。 ・増改築をした場合、その部分が増改築後の住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします。
問18 家賃・間代・地代	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円		・1か月の支払額を記入してください。 ・共益費、管理費は含めません。 ・なしの場合は、「0」と記入してください。
問19 土地・家屋借入金返済額（住宅ローン）	1 50万円未満 2 50～100万円未満 3 100～150万円未満 4 150～200万円未満 5 200～250万円未満	6 250～300万円未満 7 300～350万円未満 8 350～400万円未満 9 400万円以上 10 ローンなし	・1年間の支払額をお答えください。
問20 別居している子の有無	別居している子が 1 いる 2 いない → 問21へ		・同居の子がいる場合でも別居の子についてお答えください。 ・別居している子の既婚・未婚は問いません。
問20-1 別居している子の人数	<input type="text"/> 人		
問20-2 最も近くに住んでいる子との距離	1 隣 2 10分くらい	3 1時間くらい 4 それ以上	・時間は、徒歩や電車、車など通常行き来する方法でかかる時間をお答えください。 ・1の「隣」とは、ご本人が住んでいる家を中心に、左右両隣り、表、裏をさします。外階段を用いて行き来する2世帯住宅、離れなどに住む場合、マンションなどの集合住宅で棟が同じ場合も「隣」とみなします。

8

<p>問21 世帯収入の種類</p>	<table border="0"> <tr> <td>1 賃金・給料</td> <td>5 年金・恩給</td> </tr> <tr> <td>2 事業所得</td> <td>6 生活保護</td> </tr> <tr> <td>3 家賃・地代 ・利子・配当</td> <td>7 その他の社会保障給付金 ・雇用保険(※2)</td> </tr> <tr> <td>4 仕送り(※1)</td> <td>8 その他の収入</td> </tr> </table> <p>主なもの1つ <input type="checkbox"/></p>	1 賃金・給料	5 年金・恩給	2 事業所得	6 生活保護	3 家賃・地代 ・利子・配当	7 その他の社会保障給付金 ・雇用保険(※2)	4 仕送り(※1)	8 その他の収入	<p>・あてはまる番号の全てに○をつけ、そのうち主なもの1つを <input type="checkbox"/> に記入してください。</p> <p>※1 「仕送り」には、単身赴任者を送り出している世帯などで、単身赴任をしている方の給与振込口座から生活費などとして毎月決まって引き出す場合も含まれます。また、現金だけでなく、品物によるものも含まれます。</p> <p>※2 「社会保障給付金」は、医療保険からの傷病手当金・出産手当金・休業手当金など、労働者災害補償保険法等による各種補償費、児童手当法等による各種手当をいいます。また、「雇用保険」は、求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付などをいいます。</p>												
1 賃金・給料	5 年金・恩給																					
2 事業所得	6 生活保護																					
3 家賃・地代 ・利子・配当	7 その他の社会保障給付金 ・雇用保険(※2)																					
4 仕送り(※1)	8 その他の収入																					
<p>問22 世帯の年間収入額</p>	<table border="0"> <tr> <td>1 100万円未満</td> <td>11 1000～1100万円未満</td> </tr> <tr> <td>2 100～200万円未満</td> <td>12 1100～1200万円未満</td> </tr> <tr> <td>3 200～300万円未満</td> <td>13 1200～1300万円未満</td> </tr> <tr> <td>4 300～400万円未満</td> <td>14 1300～1400万円未満</td> </tr> <tr> <td>5 400～500万円未満</td> <td>15 1400～1500万円未満</td> </tr> <tr> <td>6 500～600万円未満</td> <td>16 1500～2000万円未満</td> </tr> <tr> <td>7 600～700万円未満</td> <td>17 2000万円以上</td> </tr> <tr> <td>8 700～800万円未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 800～900万円未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 900～1000万円未満</td> <td></td> </tr> </table>	1 100万円未満	11 1000～1100万円未満	2 100～200万円未満	12 1100～1200万円未満	3 200～300万円未満	13 1200～1300万円未満	4 300～400万円未満	14 1300～1400万円未満	5 400～500万円未満	15 1400～1500万円未満	6 500～600万円未満	16 1500～2000万円未満	7 600～700万円未満	17 2000万円以上	8 700～800万円未満		9 800～900万円未満		10 900～1000万円未満		<p>・世帯で収入があった人全員の平成27年分の収入額の総額を選んでください。</p> <p>・「賃金・給料」の収入については、勤め先から支払を受けた給料、賃金、賞与の合計額としてください。この中には税金や社会保険料を含めます。</p> <p>・事業所得は、売上高から必要経費を差し引いた営業利益としてください。</p>
1 100万円未満	11 1000～1100万円未満																					
2 100～200万円未満	12 1100～1200万円未満																					
3 200～300万円未満	13 1200～1300万円未満																					
4 300～400万円未満	14 1300～1400万円未満																					
5 400～500万円未満	15 1400～1500万円未満																					
6 500～600万円未満	16 1500～2000万円未満																					
7 600～700万円未満	17 2000万円以上																					
8 700～800万円未満																						
9 800～900万円未満																						
10 900～1000万円未満																						
<p>問23 世帯主からみた生計中心者の続柄</p>	<table border="0"> <tr> <td>1 本人(世帯主)</td> <td>7 本人(世帯主)の父母</td> </tr> <tr> <td>2 配偶者</td> <td>8 配偶者の父母</td> </tr> <tr> <td>3 子</td> <td>9 祖父母</td> </tr> <tr> <td>4 子の配偶者</td> <td>10 兄弟姉妹</td> </tr> <tr> <td>5 孫</td> <td>11 他の親族</td> </tr> <tr> <td>6 孫の配偶者</td> <td>12 その他</td> </tr> </table>	1 本人(世帯主)	7 本人(世帯主)の父母	2 配偶者	8 配偶者の父母	3 子	9 祖父母	4 子の配偶者	10 兄弟姉妹	5 孫	11 他の親族	6 孫の配偶者	12 その他	<p>・生計の中心者とは、食費、住居費など世帯の生活を維持するのに必要な生活費を最も多く負担している人をいい、必ずしも世帯主とは限りません。</p>								
1 本人(世帯主)	7 本人(世帯主)の父母																					
2 配偶者	8 配偶者の父母																					
3 子	9 祖父母																					
4 子の配偶者	10 兄弟姉妹																					
5 孫	11 他の親族																					
6 孫の配偶者	12 その他																					

9

<p>問24 生計中心者の年間収入</p>	<table border="0"> <tr> <td>1 100万円未満</td> <td>10 900～1000万円未満</td> </tr> <tr> <td>2 100～200万円未満</td> <td>11 1000～1100万円未満</td> </tr> <tr> <td>3 200～300万円未満</td> <td>12 1100～1200万円未満</td> </tr> <tr> <td>4 300～400万円未満</td> <td>13 1200～1300万円未満</td> </tr> <tr> <td>5 400～500万円未満</td> <td>14 1300～1400万円未満</td> </tr> <tr> <td>6 500～600万円未満</td> <td>15 1400～1500万円未満</td> </tr> <tr> <td>7 600～700万円未満</td> <td>16 1500～2000万円未満</td> </tr> <tr> <td>8 700～800万円未満</td> <td>17 2000万円以上</td> </tr> <tr> <td>9 800～900万円未満</td> <td></td> </tr> </table>	1 100万円未満	10 900～1000万円未満	2 100～200万円未満	11 1000～1100万円未満	3 200～300万円未満	12 1100～1200万円未満	4 300～400万円未満	13 1200～1300万円未満	5 400～500万円未満	14 1300～1400万円未満	6 500～600万円未満	15 1400～1500万円未満	7 600～700万円未満	16 1500～2000万円未満	8 700～800万円未満	17 2000万円以上	9 800～900万円未満		<p>・平成27年分の生計中心者の収入額の総額を選んでください。</p>
1 100万円未満	10 900～1000万円未満																			
2 100～200万円未満	11 1000～1100万円未満																			
3 200～300万円未満	12 1100～1200万円未満																			
4 300～400万円未満	13 1200～1300万円未満																			
5 400～500万円未満	14 1300～1400万円未満																			
6 500～600万円未満	15 1400～1500万円未満																			
7 600～700万円未満	16 1500～2000万円未満																			
8 700～800万円未満	17 2000万円以上																			
9 800～900万円未満																				
<p>問25 平成28年9月中の育児にかかった費用</p>	<p><input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円</p> <p>* 千円未満は切り捨て</p>	<p>・世帯員に乳幼児(小学校入学前：平成22年4月2日以降出生の者)がいる場合、平成28年9月中の育児にかかった金額を記入してください。</p> <p>・世帯員に乳幼児がいない場合は「0」と記入してください。</p> <p>・保育費、医療費、家具・寝具などの費用、衣服費、衛生費、乳児にかかる費用及びその他(小遣い、おもちゃ代)の、乳幼児にかかった費用の全てが入ります(2人以上いる場合は合算)。</p> <p>・ただし、飲食費、光熱水道費、住居費などは分割不可能なため除外します。</p>																		

問 26 世帯員に介護、介助、手助け及び見守りなど (以下「介護等」という。) が必要な人はいますか。在宅の 6 歳以上の方について、お答えください。

- 1 いる
- 2 いない

→ 「2 いない」と答えた方はここで終了です。ご協力ありがとうございました。

〈問 26 で「1 いる」と答えた方にお聞かせします。〉

※介護等を必要とする世帯員の方が 2 人以上いる場合には、それぞれの方についてお答えください。

問 26-1 介護等を必要とする世帯員番号 → <input style="width: 50px;" type="text"/> <small>※世帯員番号は、調査票の 1 ページにある番号です。</small>	問 26-1 介護等を必要とする世帯員番号 → <input style="width: 50px;" type="text"/> <small>※世帯員番号は、調査票の 1 ページにある番号です。</small>
問 26-2 介護等が必要になっている主な理由は何ですか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 身体障害 4 発達障害 7 高齢による衰弱 2 知的障害 5 長期間にわたる傷病 8 その他 3 精神障害 6 認知症 ()	問 26-2 介護等が必要になっている主な理由は何ですか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 身体障害 4 発達障害 7 高齢による衰弱 2 知的障害 5 長期間にわたる傷病 8 その他 3 精神障害 6 認知症 ()
問 26-3 問 26-1 の方の状態はどの程度ですか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1 日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する	問 26-3 問 26-1 の方の状態はどの程度ですか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1 日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する
問 26-4 問 26-3 の状態になってからどのくらいの期間がたっていますか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 1 月未満 4 6 月～1 年未満 7 5 年～10 年未満 2 1 月～3 月未満 5 1 年～3 年未満 8 10 年～20 年未満 3 3 月～6 月未満 6 3 年～5 年未満 9 20 年以上	問 26-4 問 26-3 の状態になってからどのくらいの期間がたっていますか。次の中からあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。 1 1 月未満 4 6 月～1 年未満 7 5 年～10 年未満 2 1 月～3 月未満 5 1 年～3 年未満 8 10 年～20 年未満 3 3 月～6 月未満 6 3 年～5 年未満 9 20 年以上

問 26-5 問 26-1 の方の介護、介助、手助け及び見守りなど (以下「介護等」という。) をしている方はどなたですか。同居の有無、続柄について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

※1 実際に介護等をしている方全員についてお答えください。

なお、主に介護等をしている人を 1 人目に記入してください。

※2 同居の場合は、 の中に、1 ページで記入した世帯員番号と同じ番号を記入してください。

別居の場合は、性別と続柄のあてはまる番号に○をつけてください。

問 26-5 問 26-1 の方の介護、介助、手助け及び見守りなど (以下「介護等」という。) をしている方はどなたですか。同居の有無、続柄について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

※1 実際に介護等をしている方全員についてお答えください。

なお、主に介護等をしている人を 1 人目に記入してください。

※2 同居の場合は、 の中に、1 ページで記入した世帯員番号と同じ番号を記入してください。

別居の場合は、性別と続柄のあてはまる番号に○をつけてください。

	介護、介助、手助け及び見守りなどをしている方				
	主にしている方 (1 人目)	2 人目	3 人目	4 人目	5 人目
同居の場合	世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/>				
2 別居の場合	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
配偶者	1	1	1	1	1
子	2	2	2	2	2
子の配偶者	3	3	3	3	3
孫	4	4	4	4	4
父母	5	5	5	5	5
配偶者の父母	6	6	6	6	6
祖父母	7	7	7	7	7
兄弟姉妹	8	8	8	8	8
その他の親族	9	9	9	9	9
事業者 (ホームヘルパー等)	10	10	10	10	10
その他 (具体的に)	()	()	()	()	()
介護等をしていない	12				

	介護、介助、手助け及び見守りなどをしている方				
	主にしている方 (1 人目)	2 人目	3 人目	4 人目	5 人目
同居の場合	世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/> 世帯員番号 <input style="width: 30px;" type="text"/>				
2 別居の場合	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
配偶者	1	1	1	1	1
子	2	2	2	2	2
子の配偶者	3	3	3	3	3
孫	4	4	4	4	4
父母	5	5	5	5	5
配偶者の父母	6	6	6	6	6
祖父母	7	7	7	7	7
兄弟姉妹	8	8	8	8	8
その他の親族	9	9	9	9	9
事業者 (ホームヘルパー等)	10	10	10	10	10
その他 (具体的に)	()	()	()	()	()
介護等をしていない	12				

問26-6 問26-1の方の介護、介助、手助け及び見守りなど(以下「介護等」という。)をしている方のうち、同居している方についてお聞きします。
 介護等を始める前と比較して、学業や仕事、収入への影響はありますか。
 現在受けている影響について、あてはまる番号の全てに○をつけてください。

※ の中には、1ページで記入した世帯員番号と同じ番号を記入してください。

※問26-5において、複数の世帯員の介護等をしている方も、この設問では1つの欄に回答を記入してください。

		介護、介助、手助け及び見守りなどをしている方					
		世帯員番号 <input type="checkbox"/>	世帯員番号 <input type="checkbox"/>	世帯員番号 <input type="checkbox"/>	世帯員番号 <input type="checkbox"/>	世帯員番号 <input type="checkbox"/>	
介護等による影響	学業	休学中	1	1	1	1	1
		退学	2	2	2	2	2
		進学の手断	3	3	3	3	3
	仕事	同一職場内での勤務形態の変更	4	4	4	4	4
		転職	5	5	5	5	5
		休職中	6	6	6	6	6
		離職中	7	7	7	7	7
	収入	就職の手断	8	8	8	8	8
		収入の減少	9	9	9	9	9
	過去に影響を受けたが、現在はほとんど影響はない		10	10	10	10	10
ほとんど影響はない		11	11	11	11	11	
その他(具体的に)		12	12	12	12	12	

ご協力ありがとうございました。

秘

東京都

総務省 届出済
 東京都指定統計調査第4号

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

回収予定日 月 日

平成28年度
 東京都福祉保健基礎調査 調査票②
 (平成28年10月12日現在)

調査ご協力のお願いと記入上の注意
 この調査は、現在満20歳以上の都民の方に、東京都の福祉のまちづくりや子育て支援などに関する施策についてお尋ねするものです。
 記入にあたっては、回答を選択肢の中から選び、選んだ番号を○で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、その具体的内容を()内に記入してください。
 ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(調査員が記入)

回答状況	1 回答	2	3	4	5
	調査不能				

調査票 2	調査番号	回答者
	地区番号	世帯番号

調査地区	区市町
調査員氏名	

あなたの性別及び年齢を教えてください。

1 男 2 女

歳
(平成28年10月12日現在)

外出時の状況などについて

《全員にお聞きします。》

【問1】 次の①から⑧までの全ての質問に、「はい」又は「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

① あなたは、視覚に何らかの障害があるために、外出の際、視覚障害者の杖などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	はい	いいえ
② あなたは、聴覚に何らかの障害があるために、外出の際、補聴器などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	はい	いいえ
③ あなたは、肢体*に何らかの障害があるために、外出の際、車いすや杖、歩行器、義肢などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。 * 肢体とは、上肢（手と腕）や下肢（足と脚）、体幹や骨柱（胴体と背骨）をさします。	はい	いいえ
④ あなたは、体の内部に何らかの障害があるために、外出の際、医療機器（ペースメーカーや携帯用ポンプなど）や車いす、杖などを利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	はい	いいえ
⑤ あなたは、上記①～④以外の何らかの障害があるために、外出の際、何らかの機器や用具を利用したり、介助者が必要とすることがありますか。	はい	いいえ
⑥ あなたは、何らかの理由があるために、外出の際、周囲の支援や理解を必要とすることがありますか。	はい	いいえ
⑦ あなたは現在、乳幼児を連れて外出することがありますか。	はい	いいえ
⑧ 《女性のみにお聞きします。》 あなたは現在、妊娠していますか。	はい	いいえ

まちの中での体験などについて

《全員にお聞きします。》

【問2】 あなたは、過去1年くらいの間に、外出の際、高齢者・障害者の方・妊産婦・乳幼児を連れて方などが困っているのを見かけたり、出会ったりしたことはありませんか。

1 ある
2 ない → 《問3へ進んでください。》 ※問3は、次のページの真ん中部分です。

《問2で「ある」を選んだ方にお聞きします。》

【問2-1】 その時、あなたはどのようにしましたか。最も近い番号1-2)に○をつけてください。

- 1 積極的に自ら手助けをした
- 2 相手から求められて手助けをした
- 3 話しかけたり、声をかけたりしたが、手助けまで至らなかった → 《問3へ》
- 4 何もしなかった → 《問2-3へ》
- 5 その他 () → 《問3へ》

《問2-1で「積極的に自ら手助けをした」又は「2 相手から求められて手助けをした」を選んだ方にお聞きします。》

【問2-2】 どのような手助けをしましたか。あてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 荷物を持った
- 2 横断歩道や通行しにくい道路で誘導したり、手を引いた
- 3 階段の昇り降りのときに手を貸した
- 4 電車、バスの乗り降りのときに手を貸した
- 5 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った
- 6 乗り物などで席を譲った
- 7 道を教えた
- 8 扉を開けた
- 9 家族などに連絡をした
- 10 その他 ()

ユニバーサルデザインについて

《全員にお聞きします。》

【問5】 「ユニバーサルデザイン(※)」という言葉や意味を御存じですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 以前から言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は今回ばかり初めて知った
- 3 言葉も意味も、今回はじめて知った
- 4 その他 ()

※ ユニバーサルデザインとは…年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、はじめからできるだけの人が利用可能なように、利用者本位、人間本位の考え方に立ってデザインすることです。その対象はハード(都市施設や製品など)からソフト(教育や文化、サービスなど)に至るまで多岐にわたっています。

- ◆ ユニバーサルデザインの具体的な事例
 - ・床が低く、高齢の人や子供でも乗り降りしやすく、また、スロープをかければ車いすの方も容易に利用できるノンストップバス
 - ・点字や音声案内、外国語での表記や色違いに配慮するなど、だれにでもわかりやすい案内サイン
- ◆ 東京都におけるユニバーサルデザインの5原則
 - ・公平(誰もが同じように施設や設備を利用できる。)
 - ・簡単(利用者の知識や能力、状況に関係なく容易に施設や設備を利用できる。)
 - ・安全(特別な注意を私わなくとも危険なく施設や設備を利用できる。)
 - ・機能(使い勝手良く施設や設備を利用できる。)
 - ・快適(気持ちよく施設や設備を利用できる。)

心のバリアフリーについて

《全員にお聞きします。》

【問6】 東京都福祉のまちづくり推進協議会(※1)からの意見具申「福祉のまちづくりにおけるソフト面の取組のより一層の推進に向けて」(平成27年10月)では、「心のバリアフリーに向けた取組の強化」の目指すべき将来像(※2)を示しています。目指すべき将来像の実現のため、効果的だと思ふ取組は何ですか。次の中からあてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 学校でのユニバーサルデザイン教育
- 2 地域住民を対象とした研修会
- 3 住民が行政と協働して活動する仕組みづくり(福祉のまちづくりサポーター等の養成)
- 4 民間事業者による接客対応向上研修
- 5 施設・設備の適正利用や障害者等の理解促進に向けた行政による普及啓発
- 6 その他 ()

- ※1 福祉のまちづくり推進協議会
学識経験者、障害者団体、公募市民などで構成される知事の特任機関。東京都における福祉のまちづくりの推進に関する基本的事項について知事の諮問に応じ調査審議している。
- ※2 「心のバリアフリーに向けた取組の強化」の目指すべき将来像
「だれもが、年齢、性別、国籍、個人の能力、生活状況などにかかわらず、相互に多様な人々を尊重することや思いやることができ、またなかで困っている人を見つけたときに、自然に気遣い、声をかけ、みんなで協力して手助けができる」とともに、困っている人からも手助けを求めやすい「社会」が実現している。

まちの中での情報提供について

《全員にお聞きします。》

【問7】 あなたが外出したときに、行きたい建物や施設への案内標示や駅などの乗り換えの誘導標示など、まちの中の標示や説明がわかりやすく整備されていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 整備されている
- 2 やや整備されている
- 3 あまり整備されていない
- 4 整備されていない

《全員にお聞きします。》

【問8】 今後まちの中の案内標示や説明をよりわかりやすく整備する上で、特に力を入れてもらいたいものは何ですか。あてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 案内標示などを絵で標示する
- 2 案内標示などを大きい文字で標示する
- 3 案内標示などで、視覚障害者・色弱者が、混同しやすいつ色の組み合わせを避け、絵や文字などを併用し標示する
- 4 現在の案内標示などに説明を加えたり、余分な説明を削除するなど、必要な情報が伝わりやすいように整理する
- 5 案内標示などを複数の言語で表記する
- 6 スマートフォンのアプリなどを活用した詳細情報を提供する
- 7 案内標示などをわかりやすい場所に設置する
- 8 案内標示などの数を増やす
- 9 案内標示などの内容を頻繁に更新するなど、常に新しい情報を標示する
- 10 その他 ()

住まいのバリアフリーの状況について

《全員にお聞きします。》

【問9】 あなたが現在お住まいになっている住宅で、バリアフリー化が進んでいないために、日常生活において、不便や不安を感じるごところはありますか。

- 1 ある
 - 2 ない
- 【問10へお進みください】

《問9で「1」ある」を選んだ方で、「1戸建てにお住まいの方にお聞きします。》

【問9-1】 それはどこですか。あてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 道路から住宅の玄関に至るまでの通路（段差がある、幅が狭いなど）
- 2 住宅の玄関（段差がある、幅が狭いなど）
- 3 室内の廊下（段差がある、幅が狭いなど）
- 4 室内の階段（手すりが無い、傾斜が急など）
- 5 居間や台所、寝室などの居室（段差がある、幅が狭いなど）
- 6 お風呂、洗面所（手すりが無い、段差がある、狭いなど）
- 7 トイレ（段差がある、幅が狭いなど）
- 8 その他 ()

《問9で「1」ある」を選んだ方で、「マンション、アパートなどの共同住宅にお住まいの方にお聞きします。》

【問9-2】 それはどこですか。あてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 道路からマンション、アパートなどの共同住宅の共用出入口に至るまでの通路（段差がある、幅が狭いなど）
- 2 共用部分（※）の通路（段差がある、幅が狭いなど） *1以外の部分
- 3 共用部分の階段（手すりが無い、傾斜が急など）
- 4 共用部分のエレベーター（エレベーターが無い、幅が狭いなど）
- 5 各住戸の玄関（段差がある、幅が狭いなど）
- 6 室内の廊下（段差がある、幅が狭いなど）
- 7 居間や台所、寝室などの居室（段差がある、幅が狭いなど）
- 8 お風呂、洗面所（手すりが無い、段差がある、狭いなど）
- 9 トイレ（段差がある、幅が狭いなど）
- 10 その他 ()

※ 共用部分とは…専有部分以外の部分で、居住者が共同して使用する出入口、廊下、階段、エレベーターなどをいいます。

外出先のバリアフリーの状況について

《全員にお聞きします。》

【問10】 あなたが自宅から出た後、日常よく出かけるところ（例えば、職場、学校、買い物先など）に着くまでに、道路や駅、電車やバスなどで、バリアフリー化が進んでいないために、不便や不安を感じるところはありますか。

- 1 ある
- 2 ない → 《問11へお進みください。》

《問10で「1」あるを選んだ方にお聞きします。》

【問10-1】 それはどこですか。あてはまる番号の全てに○をつけてください。

- 1 道路 → 1を選んだ方は、必ず【問10-1-1】を回答してください。
- 2 公園 → 2を選んだ方は、必ず【問10-1-2】を回答してください。
- 3 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など） → 3を選んだ方は、必ず【問10-1-3】を回答してください。
- 4 公共交通機関（電車、バスなどの車両） → 4を選んだ方は、必ず【問10-1-4】を回答してください。
- 5 その他（ ）

《問10-1で「1」道路を選んだ方にお聞きします。》

道路について

【問10-1-1】 高齢者・障害のある方・妊産婦・乳幼児を連れてきた方などが、道路を利用しやすくなるために、どのような整備が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる
- 2 横断歩道部など歩道から車道への移動を円滑にするため、歩道と車道の段差を少なくする
- 3 歩道の勾配（歩道面の傾斜の度合い）が急な箇所を緩やかに改善する
- 4 歩道上の障害物（看板・放置自転車など）をなくす
- 5 歩行者が安全に渡れるように、信号の時間を改善したり、音響式信号機などを設置する
- 6 横断歩道橋や地下横断歩道にエレベーターを設置するなど、立体横断施設をバリアフリー化する
- 7 だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する
- 8 視覚障害者誘導用（点字）フロツクを整備する
- 9 視覚障害者・色弱者が、混同しやすいい色の組み合わせを避け、絵や文字などを併用した標識等を整備する
- 10 ベンチなど休憩できる場所を整備する
- 11 その他（ ）

《問10-1で「2」公園を選んだ方にお聞きします。》

公園について

【問10-1-2】 高齢者・障害のある方・妊産婦・乳幼児を連れてきた方などが、公園を利用しやすくなるために、どのような整備が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 出入口や園内通路の段差をなくしたり、幅を広げる
- 2 ベンチなど休憩できる場所を整備する
- 3 車いすの方や乳幼児を連れてきた方など、だれもが使いやすいトイレを整備する
- 4 だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する
- 5 視覚障害者誘導用（点字）フロツクを整備する
- 6 視覚障害者・色弱者が、混同しやすいい色の組み合わせを避け、絵や文字などを併用した案内等を整備する
- 7 車いすの方などに配慮した、障害者用の駐車スペースを整備する
- 8 視覚障害者用ガイドヘルパー（目の不自由な方を案内したり誘導したりする人）を配置する
- 9 その他（ ）